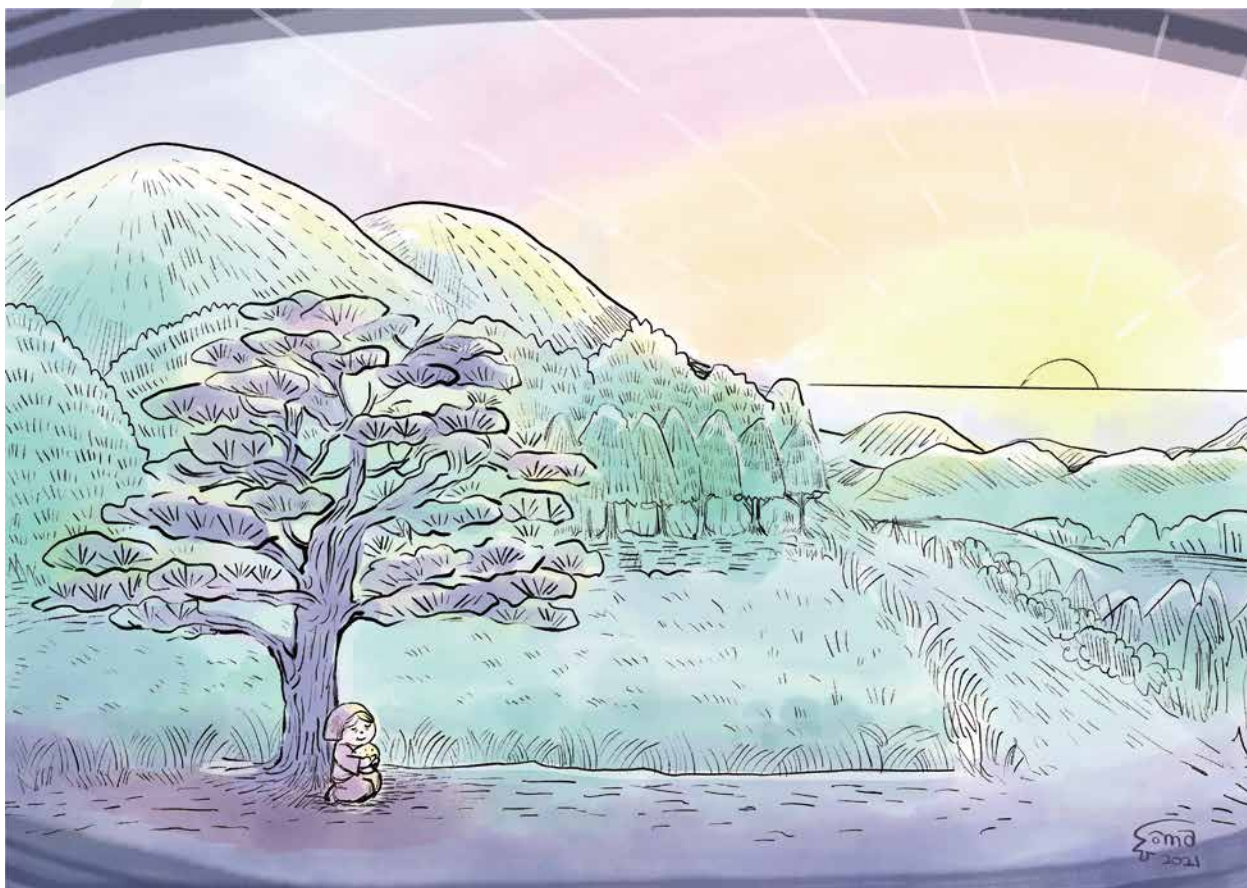




「石になった赤ちゃん」

トンゴシのお崎の鼻に、こんな話もある。
道が東光寺の方に曲がった所の上に大きな松の木
があって、その下の円い石を誰かが祀っている。
ある夕暮れ、どこかのおばあさんが町で買物をし
ての帰りに、赤ん坊をだいた母親に出あった。「す
みませんが忘れ物をしたので急いで取りに帰って来
ます。しばらく赤ん坊をだっこしていてくださいま
せんか」とのこと。かわいい赤ちゃんのことだし、
だっこしてあげました。すぐ来ますからといったの
に、暗くなっても帰ってこず、赤ん坊はおながす
いたらしく、オギャーオギャーと泣き出して、いく
らあやしても泣きやみません。
夜中になっても捨てて帰るのはかわいそうだし、
土手に腰かけているうちに眠ってしまいました。
夜が明けてみると大きな石をだっこしていて、町
から買って来ていた御馳走はふるしきだけになって
いました。気の毒なおばあさん。今ある円い石はそ
の時の赤ん坊でしょうか。

(採話：家床地区 永友千秋)



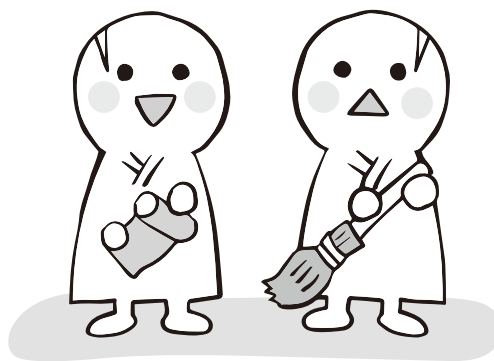
身代わりの菩薩 かんかん仏

(寒山・拾得の石仏)

高鍋町制
施行
120
周年



かんかん仏



これまで、4回に渡って発行してきた「たかなべ伝・伝 Returns」ですが、右上に「かんかん仏」という2体のキャラがいたのにお気づきでしたか？

このキャラは、高鍋町の舞鶴公園にある「かんかん仏」とも呼ばれている寒山・拾得象をモチーフにしています。巻物を持つ「寒山」と、ほうきを持つ「拾得」は、中国唐代の高僧で、文殊菩薩、普賢菩薩の生まれ変わりとも伝えられています。



「たかなべ伝・伝 Returns」の発行には、まいづるカード会のご協力を頂いています。

令和3年10月1日発行 発行 高鍋町教育委員会 社会教育課 高鍋町大字上江8335番地2 TEL 0983-23-3326

10月1日は「高鍋町民の日」です。

デザイン・イラスト：ごとうきよ

